

お知らせ

INFORMATION

No.2020-06

2020年3月

病体生理研究所

新規受託開始および受託中止のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。併せて旧検査コードにつきましては受付中止とさせていただきます。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

- ◆ **メタネフリン分画 [16235]** …検査実施施設 S
- ◆ **遊離 L 鎖 κ/λ 比 [16441]** …検査実施施設 M

※項目情報裏面参照

《受託開始日》2020年3月31日（火）受付分より

【検査受付中止について】

- ◆ **メタネフリン分画 [10429]** …検査案内 P39 検査実施施設 S
- ◆ **総メタネフリン(蓄尿) [11094]** …検査案内未掲載 検査実施施設 S
- ◆ **総メタネフリン (尿) [13894]** …検査案内未掲載 検査実施施設 S
- ◆ **遊離 L 鎖 κ/λ 比 [17242]** …検査案内 P73 検査実施施設 M

《最終受付可能日》2020年3月30日（月）受付分まで

【新規項目情報】

項目名称	メタネフリン分画
コード	16235
検体材料	酸性蓄尿 2mL
採取方法	所定用量の専用蓄尿添加剤（ユリメジャー）を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響が見られますので、必ず専用蓄尿添加剤を入れてください。
保存・安定性	絶凍（28日）
検査方法	LC - MS - MS
基準値（単位）	メタネフリン 0.04~0.19 ノルメタネフリン 0.09~0.33 mg/day
所要日数	4~7日
実施料（区分）	227点（D008 43）
判断料	生化学検査Ⅱ 144点
備考	総メタネフリン（mg/day）も報告いたします。

メタネフリン・ノルメタネフリン分画は、褐色細胞腫・パラガングリオーマ（PPGL）の診断補助に有用な検査です。

メタネフリンはアドレナリン、ノルメタネフリンはノルアドレナリンの代謝産物であり、カテコール-O-メチル転換酵素(COMT)の作用によりメチル化を受けて生成されます。

PPGLの機能診断では、24時間尿中のメタネフリン2分画の正診率・感度・特異度は、非常に高く、また、メタネフリンとノルメタネフリンの合計値が正常上限の3倍以上である場合の診断精度は、さらに高まります。PPGLにおけるスクリーニングや確定診断補助として有用です。

この度、LC-MS-MSにて、メタネフリン分画とメタネフリンとノルメタネフリンの合計値も同時に報告いたします。

参考文献：Clark ZD, et al : Journal of Chromatography B 879 (31) : 3673~3680, 2011. (検査方法参考文献)

日本内分泌学会: 褐色細胞腫・パラガングリオーマ診療ガイドライン 2018. (臨床的意義参考文献)

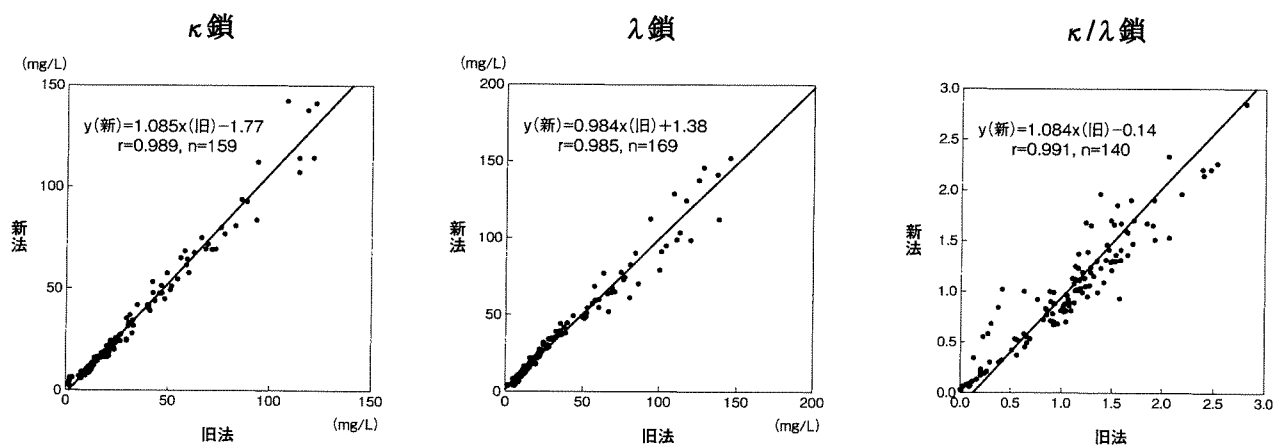
【新規項目情報】

項目名称	遊離L鎖κ/λ比 (FLC)
コード	16441
検体材料	血清 0.5mL
保存・安定性	冷蔵
検査方法	LA (ラテックス凝集比濁法)
基準値 (単位)	κ鎖 : 3.3~19.4 λ鎖 : 5.7~26.3 mg/L κ/λ比 : 0.26~1.65
所要日数	3~5日
実施料 (区分)	400点 (D015 27)
判断料	免疫学的検査 144点

現行試薬の販売中止に伴い、同一メーカーが販売するラテックス凝集比濁法試薬に変更するとともに、報告所要日数を短縮致します。

新旧二法の相関は良好ですが、基準値を測定試薬の添付文書記載値に変更致します。

【新法と旧法の相関】



参考文献：守田由香, 他：医学と薬学 74 (8) : 945-950, 2017.

以上